

早期水稲栽培暦 (令和4年12月作成)

南さつま農業協同組合
南薩地域米・麦・大豆等生産対策協議会

環境保全型農業に努め、肥料・農薬の適正使用と飛散防止に心がけましょう！

うまい米・売れる米を作りましょう！

区分	月(旬)		3月			4月			5月			6月			7月			8月					
	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
稲の一生と 管理作業	育苗準備 箱塩種浸 消毒水子種 消毒		田植期 は種			間断かん水			穂肥			出穂期 乳熟期			落水(収穫5日前)			刈り取り 青刈率10~12%			すき込み・耕うん		
	かん水 間断かん水																						
主な 対象 病害虫 と農薬	病害虫名		◎いもち病・イネミズゾウムシ ○苗立枯病 ○イネシンガレセンチュウ (イネシンガレセンチュウ)			○イネミズゾウムシ ○スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)			○いもち病			◎カメムシ類 紋枯病・穂いもち			○カメムシ類			うまい米を作るために 次の点に注意しましょう			適期刈り取り・過乾燥の防止 カメムシ多発時の補完防除 適期防除 土づくり 種子更新・健苗育成		
	農薬名		ツインターボ箱粒剤08 ダコレート水和剤 スミチオン乳剤 モミガードC水和剤 イチバン タチガレーエースM粉剤			なげこみトレボン スクミノン			ゴウケツバック			ノンプラステレバリダ粉剤DL			またはスタークル粉剤DL トレボン粉剤DL			適正な栽培密度を守りましょう！ (疎植気味の水田が多く見られます) ・1㎡当たり20株以上は植えましょう ・田植機の設定は株間16cm以下で植えましょう					
量(10アール)		箱6 5 8 g		箱0.5 50 g		1 4 5 5 4 6 kg		10 個		3 3 3 kg		3 3 3 kg											

病害虫の発生情報は
病害虫防除所のテレホンサービス
099-296-6430
<http://www.ippn.ne.jp/kagoshima/index.html>

除(抑)草剤 使用基準			使用回数(回以内)	水田一年生雑草 イネ科 非イネ科	マツバイ	ホタルイ	キシウウスズメノヒエ	ミズガヤツリ	クロゲワイ	コウキヤガラ	オモダカ	ウリカワ	ヒルムシロ	アオミドロ	藻類による表層はく離
薬剤名	使用時期	10a使用量													
クサトツタ1キロ粒剤	移植時 ※田植同時散布機で施用する場合 移植直後~7/12葉期(但し、移植後30日まで)	1kg	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
サラブレッドフロアブル	移植時 ※田植同時散布機で施用する場合 移植直後~7/12葉期(但し、移植後30日まで)	500ml	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
サラブレッドKAI1キロ粒剤	移植時 ※田植同時散布機で施用する場合 移植直後~7/12葉期(但し、移植後30日まで)	1kg	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
エンペラー豆つぶ250	移植時 ※田植同時散布機で施用する場合 移植直後~7/13葉期(但し、収穫75日前まで)	250g	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
クラッシュEXジャンボ	移植後3~10日(7/12葉期まで)	10個(500g)	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ミスターホームランジャンボ	移植後5日~7/12葉期(但し、移植後30日まで)	10個(500g)	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ザークD1キロ粒剤51	移植後5日~7/13葉期(但し、移植後30日まで)	1kg	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
バサグラン液剤	移植後15~55日(但し、収穫50日前まで)	500~700ml 散布液量70~100ℓ	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
クリンチャーEW	移植後20日~7/16葉期(但し、収穫30日前まで)	100ml 散布液量25~100ℓ	2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
モゲトン粒剤	発生始~発生盛期(但し、収穫45日前まで) ウリカワの増殖初期(2~4葉期)またはヒルムシロの発生始~増殖始(但し、収穫45日前まで)	2~3kg 3~4kg	3												○
グラスショート液剤(抑草剤)	雑草生育初期(草丈10cm)及び草刈り後10~20日の雑草再生期(但し、収穫前日まで)	300~500ml 通常散布液量50~100ℓ 少量散布液量25ℓ	3	雑草の成長を抑制する剤です 水田畦畔の草刈り後に散布することで、その後の草刈り回数が減り、作業が楽になります											

※ ジャンボ剤と豆つぶ剤の使用にあたっては、水の出入りを止めて5~6cmの湛水状態にし、処理後少なくとも3~4日間は通常の湛水状態を保ち、落水やかけ流しはやめましょう。
※ 農薬の登録状況は、令和4年12月現在です。
※ 農薬の使用にあたっては、容器包装に表示してある使用方法を確認して使用してください。
<黄萎病・縞葉枯病の耕種対策>
収穫後早期に耕して、再生イネ(ひこぼえ)の発生を抑えるとともに、休耕田や畦畔等の周辺を含む冬雑草も除草しましょう。
<イクヒカリ、なつほのかを作付する場合>早期落水を避けるため、品種ごとの団地化や、品種特性に応じた作業を行ってください。

土づくりと施肥設計(単位:10アール当たり)
収穫後、できるだけ早めに散布しましょう。
完熟堆肥
地力維持・向上のため堆肥を施しましょう。
①牛ふん堆肥の場合 1,000kg
土壌改良資材
①ケイテツ 100kg 秋落ち・倒伏防止
②ケイカル 100kg 病害虫抵抗性増大
③鉄入りエンリッチ40号 100kg ケイ酸、鉄、リン酸等の補給
④アヅミン 20~40kg 腐植、保肥力向上
⑤シリカサポート1号 40~80kg ケイ酸、鉄、リン酸等の補給
⑥農カアップ 60~100kg ケイ酸、鉄、リン酸等の補給

コシヒカリ 干拓地域 例 ※肥料名の():窒素-リン酸-カリ-苦土の成分割合

肥料名	基肥	追肥	穂肥	成分含有量			
				窒素	リン酸	カリ	苦土
苦土重焼燐(0-35-0-4.5)	20kg						
① BB284(12-18-14-0)	30kg			7.0kg	12.4kg	7.6kg	0.9kg
BBNK77(17-0-17-0)		10kg	10kg				
② 苦土重焼燐(0-35-0-4.5)	20kg			6.0kg	14.0kg	8.0kg	1.4kg
水稲一発くん・早期用(12-14-16-1)	50kg						

イクヒカリの場合

① 苦土重焼燐(0-35-0-4.5)	20kg			6.4kg	11.0kg	4.0kg	1.7kg
イクヒカリ専用肥料(16-10-10-2)	40kg						

殺菌・殺虫剤 使用基準			使用回数(回以内)	苗立枯病	ばか苗病	イネシンガレセンチュウ	いもち病	紋枯病	スクミリンゴガイ	ツインターボ箱粒剤08	なげこみトレボン	ゴウケツバック	ブラシン粉剤DL	ブラシンバリアダ粉剤DL	ノンプラステレバリダ粉剤DL	トレボン粉剤DL	トレボン乳剤	スタークル粉剤DL	スタークル液剤10	アミスターエイト	
薬剤名	使用時期等	10a使用量																			
タチガレーエースM粉剤	は種前、育苗箱土壌均一混和	1kg	1	○																	
モミガードC水和剤	浸種前、200倍液、24時間種子浸漬	1kg	1	○	○																
スミチオン乳剤	は種前、1000倍液、6~72時間浸漬 収穫21日前まで、1000倍液	1kg	2			○															○
ダコレート水和剤	は種時、400倍、灌漑 は種時~緑化期(但しは種14日後まで)	1kg	2	○																	
ツインターボ箱粒剤08	は種時(覆土前)~移植当日	1kg	1				○			○											
スクミノン	収穫60日前まで	2kg	2					○													
なげこみトレボン	5葉期以後、収穫21日前まで	3kg	3																		注
ゴウケツバック	出穂5日前まで、但し収穫30日前まで	1kg	1				○														
ブラシン粉剤DL	収穫7日前まで	2kg	2					○													
ブラシンバリアダ粉剤DL	収穫14日前まで	2kg	2					○													
ノンプラステレバリダ粉剤DL	収穫14日前まで	2kg	2					○													○
トレボン粉剤DL	収穫7日前まで	3kg	3																		○
トレボン乳剤	収穫14日前まで	3kg	3																		○
スタークル粉剤DL	収穫7日前まで	3kg	3																		○
スタークル液剤10	収穫7日前まで	3kg	3																		○
アミスターエイト	収穫14日前まで	3kg	3				○	○	○												○

※ スミチオン乳剤は、メーカーによって水稲に登録のないものがあります。
※ ダコレート水和剤は、メーカーによって使用時期、使用回数異なるものがあります。
※ なげこみトレボンのカメムシ類は、イネクカメムシを対象となります。
スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)の発生ほ場では
① 冬場にロータリーをかけた後、これは寒い時期が効果的です。
② 卵の塊をできるだけ除去しましょう。
③ 田植後は浅水管理にしましょう。

※野菜後は減肥しましょう。